

第 1 6 回厚生文教常任委員会会議記録

| | | | | |
|--|-------------------------|----------|-----------------|-------------------|
| 開 閉 会 日 時 | 令和 3 年 1 1 月 1 6 日 (火曜) | | 午前 9 時 3 0 分 開会 | |
| | 休憩 10:07-09 | 10:19-30 | 10:49-53 | 11:02-03 11:19-20 |
| | 午前 1 1 時 3 2 分 閉会 | | | |
| | 休憩時間：0 時間 1 9 分 | | 会議時間：1 時間 4 3 分 | |
| 会議場所 | 役場 3 階 委員会室 | | | |
| 出席委員 氏 名 | 委員長 | 渡辺洋一郎 | 委員 | 堀切 忠 |
| | 副委員長 | 黒田 栄継 | 委員 | 橋本 和仁 |
| | 委員 | 常通 直人 | | |
| | 委員 | 柴田 正博 | | |
| | 委員 | 正村紀美子 | | 議長 早苗 豊 |
| 説明員 | 公立芽室病院事務長 | 西科 純 | 同保健推進係長 | 吉川 泰子 |
| | 同参事 | 江崎 健一 | 高齢者支援課長 | 坂口 勝巳 |
| | 同総務係長 | 佐藤 文彦 | 同課長補佐 | 塚田 直子 |
| | 同医事係長 | 多田 敬介 | 同介護保険係長 | 林 宏明 |
| | 同経営企画係主査 | 吉田かおり | 同主査 | 高谷真理子 |
| | 健康福祉課長 | 大野 邦彦 | 同在宅支援係長 | 本内紀美子 |
| | 同課長補佐 | 久保 禎巳 | 同主査 | 柳沢 倫世 |
| 参考人 | | | | |
| 欠席委員 氏 名 | 委員 | 西尾 一則 | | |
| 事務局職員 | 事務局長 | 安田 敦史 | 総務係主査 | 上田瑞紀 |
| 『会議に付した事件と会議結果など』 | | | | |
| 1 開 会 | | | | |
| 委員長が開会を告げた後、西尾委員の欠席の旨を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。 | | | | |
| 2 議 件 | | | | |
| (1) 調査事項 | | | | |
| ア 公立芽室病院の経営状況（令和 3 年度上半期決算状況）について 資料 1 | | | | |
| ・委員長：担当課の説明を求める。 | | | | |
| ・事務長：資料説明者の指名（総務係長及び医事係長から説明） | | | | |
| ・総務係長：「上半期決算状況」概要の説明 | | | | |
| ・医事係長：「診療科別前年対比（入院・外来）」及び「新型コロナ PCR 算定件数一覧（外来）」説明 | | | | |
| ・委員長：意見・質疑はないか？ | | | | |
| ・黒田委員：コロナ対応の実績が大きく反映された決算と解する。今後のコロナ病床に | | | | |

対する財源確保等の見通しは？

- ・事務長：今年12月までは、コロナ病床の確保は補助対象の見込みである。しかしながら、1～3月は確定とは言えないが、コロナ病床を継続するべきと考えている。令和4年度については、今後の国の動きを見ながら、北海道等関係機関との協議を経て検討していきたい。
- ・橋本委員：コロナ収束後の経営について、アクションプランへの取り組みが強化されると思うが、その見通しは？
- ・事務長：アクションプランはコロナ対策とは別次元のものであり、院内体質の改善を主にした行動計画である、地道ながら順調に進んでいるという認識である。本日の調査事項となっていないため、改めて機会を得て説明していきたい。
- ・正村委員：病院経営について、今後の主たる対策は？
- ・事務長：院内では、日常から医局と関係セクションとの協議、情報共有を図っているが、患者様を集めていく行動が主である。地域連携室を中心として、帯広市及び他自治体との医療機関と連携を図り、役割分担と相互補完に努めている。コンサルのサポートも得ながら実行し、少しずつであるが効果は表れていると実感している。細やかな経営チェック、道外の先進医療機関の視察等を重ねている。視察の具体例としては、経営概念を一にし職員一丸となった意識改革を実践している例、コロナの影響を受けずに安定経営を実践している例、卓越した接遇の提供という集中的な取組の例などを直に学んできている。医師の確保は不可欠な要素。苦慮しながらも何とか順調に進めている思いであり、継続して経営安定化に努めていきたい。
- ・正村委員：地域連携室の機能として、今年度の新たな取り組みがあれば伺いたい。
- ・事務長：介護医療連携会議により町内関係機関の意見交換と情報共有をし、対応を進めていて前進している事例が挙げられる。医療現場で「連携」というのは、なかなか確立できなかつたが実践している。具体例は主査から説明する。
- ・経営企画係主査：コロナ対応として、患者様の御家族が面会できない状況に向き合い、その対応として、試行錯誤しながらも在宅医療につなぎ、最後の時間を過ごしていただけるような工夫と配慮に努力したケースが、昨年度と比較しての新たな取組の一例である。
- ・事務長：経営の安定化となると決算がメインとなり、経費の数値がバロメーターとなるが、別の要素としては、地域包括ケアシステムの一翼を担う役割も大きなものがあることを理解いただきたい。明快な説明により理解を得るには、病院としても一層の創意工夫を要するが、努力を地道に重ねていきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について

資料2

- ・委員長：担当課の説明を求める。
- ・健康福祉課長：資料2-1（11月15日時点のワクチン接種状況）及び資料2-2（ワクチン接種体制確保）について、課長補佐から説明する。

- ・課長補佐：資料2-1（10月13日の厚生文教常任委員会説明以降の「接種対象者」「接種体制」「接種状況」「スケジュール」）及び資料2-2（3回目接種の対象者、事務の運用、開始時期、体制確保）の説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・橋本委員：3回目の接種が、2回目接種以降6か月でも良いとの報道があったが、町の対応は？
- ・課長：現時点では、原則8か月というのが正式な通知である。まだ、6か月は、非公式な情報であり今後の検討材料として視野に入れている。
- ・常通委員：諸般の事情により、3回目のワクチンの種類が違うことがないような手当ては？
- ・課長：国や道等関係機関からの情報により、適正に取り扱いたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 地域包括支援センター外部委託について 資料3

- ・委員長：担当課の説明を求める。
- ・高齢者支援課長：事業の経過説明。資料説明は課長補佐からの旨告げる。
- ・課長補佐：資料説明（「目的」「委託業務について」「優先交渉権者」「スケジュール」「事業費」及び「プロポーザル審査委員会報告書」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・黒田委員：外部委託で強化する分野は？
- ・課長補佐：介護予防の推進、早期からの支援相談体制の強化、民間活力との協働である。
- ・柴田委員：事業者の育成という視点で伺う。今回、事業候補者とならず、次点となった社会福祉協議会は、町が育成してきた長い歴史の経過がある。この町の規模では福祉事業の法人が希少で限られ都市圏とは異なる構造である。社会福祉協議会に対する今後の町のスタンスは？
- ・課長補佐：公平な視点でプロポーザル審査により決定したものであり、候補者と連携しながら事業を実施していきたい。社会福祉協議会とは、従来通り地域福祉事業の実施にあたり、継続的に連携していきたい。
- ・常通委員：審査結果報告書について、「審査結果」の得点は（100点満点で70数点）、町は委託に値する評価ということで良いか？
- ・課長：評価できる結果と捉えている。
- ・常通委員：評価項目の中で「法人の理念・運営方針」の具体的な評価基準は？
- ・課長：「理念・運営方針」にも特徴や個性が反映されるものであり、その背景により評価にも差が出たものと解している。
- ・黒田委員：利用者に対する引き継ぎ等の配慮はいかがか？
- ・課長補佐：現任と共に対応する等混乱のないよう対応する。
- ・常通委員：事業費について伺う。資料の委託費は単年か？

- ・課長補佐：単年度予算で3年間同額である。財源内訳は人件費＋諸経費であり、現時点では3年間同額の予定である。
- ・常通委員：引き継ぎ期間における委託費の執行はないか？
- ・課長補佐：年度内における委託費の執行はない。
- ・常通委員：全体を通して伺う。新たな事業形態となることから、サービス低下や混乱が生じないように期待するがいかがか？
- ・課長：直営から委託事業となる。懸念される事項が生じないように、事業が継続してスムーズに円滑に進むよう取り組んでいきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ 介護事業所職員アンケート調査について 資料4

- ・委員長：担当課の説明を求める。
- ・高齢者支援課長：事業の背景の説明。担当主査から資料説明の旨告げる。
- ・介護保険係主査：資料説明（調査の目的とアンケート結果の概要説明）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・堀切委員：正規雇用と非正規雇用の割合は？
- ・主査：「年間収入」の項目で、分析すべき課題と捉えている。次回に反映したい。
- ・堀切委員：資格の種類は？
- ・主査：「職種」で一定の区分は把握したが、詳細のアンケートは実施しなかった。
- ・堀切委員：研修に反映していくには、情報把握は必要とを感じるがいかがか？
- ・主査：今回は、個人が特定できないねらいはあったが、次回に向けて検討していきたい。
- ・常通委員：4点に「まとめ」がされている。新年度に向けて事業が展開される考えで良いか？
- ・主査：今年度既に予算を伴わないものについては、教育分野で取組んだものもある。次年度以降の事業化に向けて取り組んでいきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「エ」を終了する。

オ 厚生文教常任委員会所管施設調査について 資料5

- ・委員長：11月26日に実施する所管施設調査の説明。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・橋本委員：委員会室に戻って解散か？
- ・委員長：休憩中の施設調査となるので、委員会室で休憩を解いて、委員会を終了する流れ。
- ・委員長：決定とする。以上で調査事項「オ」を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「ア」についていかがか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：引き続き、適宜調査を行うこととする。

- ・委員長：次に調査事項「イ」についていかがか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：「ア」と同様に引き続き、定期的に調査を行うこととする。

- ・委員長：次に調査事項「ウ」についていかがか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：引き継ぎ、保健福祉センターでの事業展開等必要に応じて調査を行うこととする。

- ・委員長：次に調査事項「エ」についていかがか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・堀切委員：引き続き調査すべき事項と考える。
- ・柴田委員：アンケート結果から見ると新卒者が希少である。いっそうの人財の確保に向けた施策の展開を目指して、調査を継続すべきと考える。また、関連として、「地域包括支援センター外部委託」の件に言及するが、福祉事業に特化すると、新規事業の展開や民間との協働については、安定維持は容易ではないものである。本来、町が自治体の責務として行う地方自治の根幹的業務については、必ずしも競争原理（公募型プロポーザル等の手法）ではなく、特定の事業者を選定し、町との連携の安定的な継続と充実を図ることも選択肢とすべきことを痛感する。
- ・委員長：他にないか。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：継続して調査事項とする。

- ・委員長：次に調査事項「オ」についていかがか？
- ・（意見・質疑なし）

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：次回委員会は、明日 11 月 26 日（金） 9 時としたい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：異議なしと認め、決定する。

(2) その他

- ・委員長：「どんぐり会」から意見交換の申し出がある。日程調整を正副に一任いただきたい。異議ないか？

「その他」で委員からないか？

- ・委員長：他にないか？
- ・委員長：議長から？
- ・委員長：事務局から？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

| | | | | | | | | |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|
| 傍聴者数 | 一般者 | 1名 | 報道関係者 | 1名 | 議員 | 0名 | 合計 | 2名 |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|

令和3年11月16日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎